

平成30年度事業計画

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

平成29年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- | | | |
|---|----|-----------|
| 1) 学術講演会 | 1回 | } 合同開催の予定 |
| 2) 研究発表会 | 1回 | |
| 3) 現地見学会 | 1回 | |
| 4) 講習会 | 1回 | |
| 5) ダム工学会賞 表彰 | 1回 | |
| 6) 活性化関連活動 | | |
| ・地域活動 | | |
| ・若手の会 | | |
| ・ダムなんでも相談室 | | |
| ・“with Dam★Night 東京、東北、中部・近畿、中国・四国、九州で開催。 | | |

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

- | | | |
|--------------|----------|---------------------|
| VOL. 28 No.2 | 平成30年 6月 | 発行予定 (平成30年 6月15日号) |
| VOL. 28 No.3 | 平成30年 9月 | 発行予定 (平成30年 9月15日号) |
| VOL. 28 No.4 | 平成30年12月 | 発行予定 (平成30年12月15日号) |
| VOL. 29 No.1 | 平成31年 3月 | 発行予定 (平成31年 3月15日号) |

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

3) 戦略的・効果的な広報の実施

ダム工学会ホームページを活用し、一般の方にダムに関する見学会等のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。また、活性化関連活動を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

4. 研究活動

1)～8)の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 平成30年度活動内容

1) コンクリートダム研究部会

新研究テーマとして、ダム技術史研究部会での活動状況やC I Mの動向などを考慮し、「ダム管理期間としての第IV期設定について(仮称)」を検討していく。

2) フィルダム研究部会

平成29年度に引き続き、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびに耐震補強の事例分析」について「ダム工学」への投稿にむけて要約版を作成する。あわせて、新年度テーマの検討を進める。

3) 地質・基礎研究部会

平成29年度に引き続き、「ダム(堤体、貯水池周辺斜面)の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議していく。

4) 維持管理研究部会

「ダム貯水池の堆砂の有効利用等に関する研究」について事例収集や現地見学を行い、平成31年度までの研究成果をとりまとめ(予定)、「ダム工学」の部会報告用原稿を作成する。

5) 施工研究部会

平成30年度は、ひび割れの発生原因、発生位置、調査法、対策手法、ひび割れを発生させないための提案などを記載した事例集を取りまとめ、公表する。

6) 計測管理研究部会

重力式コンクリートダムをフィールドに、GPS変位計測の適用に関して、大学との交流研究事業による研究を実施し、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン(仮題)」をとりまとめる。

7) ダム技術史研究部会

平成29年度に引き続き、ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を実施する。

8) ダム貯水池課題研究部会

平成30年度以降の活動方針と具体的内容（研究項目、研究メンバー、スケジュール等）を固めた上で、それに沿った研究活動を行う。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の3テーマを継続する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

ひび割れの生じていないダムの整理（温度応力解析に必要なデータ抽出及び品質管理データ等から強度等の物性値等の推定式の作成）を実施する。

2) GPS変位計システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究

GPS変位計システムを用いて得られた重力式コンクリートダムの変位計測結果について検討を行い「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン（仮題）」に反映させる。また、「ダム工学」への投稿にむけて原稿を作成する。

3) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

非破壊試験方法のうち、弾性波を利用した衝撃弾性波法および赤外線サーモグラフィ法を用いてコンクリートのひび割れを評価する。

平成30年度 収支予算

報告 2

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,250,000	11,480,000	△ 230,000	
①正会員会費	3,500,000	4,380,000	△ 880,000	H28度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	250,000	100,000	150,000	H28度決算額考慮
④賛助会員会費	7,500,000	7,000,000	500,000	H28度決算額考慮
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,255,000	2,625,000	△ 370,000	
①総務小委員会収入	370,000	370,000	0	第28回通常総会 会費
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	学術研究発表会参加費 第45回現地見学参加費 (大ダム会議と合同開催) 大ダム会議負担金除く
③現地見学会収入	1,215,000	1,215,000	0	
④講習会収入	0	0	0	講習会小委員会
⑤表彰関係収入	0	30,000	△ 30,000	公開審査会H30無し
⑥活性化推進収入	470,000	810,000	△ 340,000	活性化推進小委員会 若手技術者勉強会 語りへの会参加費
若手の会	150,000	150,000	0	
ダムなんでも相談室	0	0	0	CMED会補助金除く
北海道ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会(支部)参加費
東北ブロック	0	320,000	△ 320,000	
中部近畿ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	170,000	△ 20,000	with Dam Night会費 ダム見学会(支部)参加費 社)九州地方計画協会補助金除く
With Dam Night 2018	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,715,000	1,715,000	0	
①会誌一般頒布収入	360,000	360,000	0	購読会員会費
②会誌広告料	1,250,000	1,250,000	0	会誌広告料
③抜刷別刷収入	75,000	75,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	30,000	0	IST特許料・学術著作権複写
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	
5. 雑収入 (①～②計)	1,051,000	1,601,000	△ 550,000	
①補助金収入	1,050,000	1,600,000	△ 550,000	CMED会(20万) 九州地方計画協会(80万) 大ダム会議負担金(5万)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計(1～5計)	16,301,000	17,451,000	△ 1,150,000	
6. 前年度繰越金	14,569,482	13,942,748	626,734	
合計(小計+6)	30,870,482	31,393,748	△ 523,266	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,105,000	11,099,000	△ 994,000	
①研究発表会支出	810,000	800,000	10,000	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,315,000	1,270,000	45,000	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	250,000	250,000	0	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,150,000	1,389,000	△ 239,000	表彰・選考委員会
⑤広報支出	90,000	90,000	0	広報小委員会(ホームページ管理費)
⑥活性化推進支出	5,110,000	6,160,000	△ 1,050,000	活性化推進小委員会
若手の会	1,350,000	1,500,000	△ 150,000	若手技術者勉強会 語りべの会経費
ダムなんでも相談室	650,000	1,200,000	△ 550,000	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	320,000	440,000	△ 120,000	ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	450,000	390,000	60,000	現地見学会・WDN 経費
中部近畿ブロック	580,000	640,000	△ 60,000	with Dam Night経費
中国四国ブロック	290,000	290,000	0	with Dam Night 経費
九州ブロック	1,270,000	1,300,000	△ 30,000	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
With Dam Night 2018	200,000	200,000	0	with Dam Night 経費
ダム技術史講演会	0	200,000	△ 200,000	
⑦調査研究支出	1,380,000	1,140,000	240,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	200,000	40,000	160,000	現地調査等 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	100,000	80,000	20,000	現地調査等 経費
維持管理研究部会	70,000	70,000	0	現地調査等 経費
施工研究部会	50,000	50,000	0	部会 経費
計測管理研究部会	160,000	0	160,000	部会報告書印刷 経費
ダム技術史研究部会	100,000	300,000	△ 200,000	現地調査等 経費
ダム貯水池課題研究部会	100,000	0	100,000	部会 経費
交流研究連絡会議	600,000	600,000	0	交流研究補助金3テーマ分
2. 刊行支出	4,400,000	4,500,000	△ 100,000	
①会誌作成費	4,400,000	4,500,000	△ 100,000	送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑩計)	2,090,000	2,170,000	△ 80,000	
①会場費	400,000	400,000	0	第28回総会 経費等
②会議費	680,000	680,000	0	第28回総会 経費等
③印刷製本費	300,000	300,000	0	第28回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	200,000	200,000	0	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	90,000	△ 90,000	事務局HDD等購入費
⑥通信費	100,000	80,000	20,000	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	60,000	50,000	10,000	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	50,000	△ 50,000	
⑨コンサルタント料	170,000	150,000	20,000	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料, 日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑪源泉徴収費	30,000	20,000	10,000	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	16,695,000	17,869,000	△ 1,174,000	
6. 繰越金	14,175,482	13,524,748	650,734	
合計 (小計+6)	30,870,482	31,393,748	△ 523,266	